

生放送番組を紹介

毎週テーマを決めて、リスナーの皆さんからメッセージを募集しています！

- **モーニングOne**(平日、午前7時～9時)
花巻のフレッシュな情報を朝一番にお届け。
- **フラワーラス**(平日、午前11時30分～午後2時)
ランチタイムに聞いて得する地域情報がてんこ盛り。
- **もっす787**(平日、午後5時～7時 ※金曜日は午後4時～)
パーソナリティとリスナーで番組を作る、自由でアットホームな2時間。

生放送番組内で行政情報も放送中！

- **市役所かわら版**(午前8時45分)…広報はなまきからピックアップした情報をお知らせ
- **カルトピ!**(水曜、午後0時15分)…市内文化施設のイベント情報などをお知らせ
- **くらしのQ&A**(午後5時40分)…問い合わせの多い内容や市のお知らせを、市職員とパーソナリティが分かりやすくお届け

*放送番組について詳しくは、市内公共施設などに設置、またはえふえむ花巻のホームページに掲載している、番組表をご覧ください



柳原 睦子 さん
石鳥谷出身

■ **担当番組**
「気軽に好奇心(水曜、午前11時・午後7時)」[アシスト伸和の未来をアシスト! (第2火曜、午後1時30分)] [モーニングOne(日・木)] [もっす787(火)]

■ **おすすめ番組**
洋楽専門番組「ナナハッチナナ(火曜、午前11時)」。マニアックな曲も流れるので、洋楽好きの人にぜひ聞いてほしい！

■ **ひとこと**
開局20年、30年を迎えられるよう、これからもよろしくお願ひします。

個性豊かなパーソナリティを紹介

■ **担当番組**
「すくーる ON AIR(金曜、午後9時)」[牧野詩織のなないろクラシック(火曜、午後7時30分)] [モーニングOne(火・水)]

■ **おすすめ番組**
やっぱりこれは外せない、生放送番組！ 特に「もっす787」の水曜日を担当する、宇夫方さんと根井さんのタイプの違う2人によるゆるいトークがおすすめ！

■ **ひとこと**
友達と話しているような着飾らないトークを心掛けています。78.7MHzで皆さんをお待ちしています！



藤原 詳 さん
花巻出身

会場に放送ブースを設置し、公開生放送を行います。ファン感謝祭では、パーソナリティのトークショーや音楽ライブも開催。キッチンカーの出店や、開局15周年記念グッズの販売などもあります。

【**期日**】 10月12日(日)

【**時間**】 ▼公開生放送…午後1時～6時 ▼ファン感謝祭…午後4時30分～7時30分

【**会場**】 なのはんプラザ、花巻駅前多目的広場

*来場者に先着でオリジナルステッカーをプレゼントします

エフエムワンは、全国のコミュニティ放送局の放送をインターネットで配信しているサービス「JCB Aサイマル」でも聴くことができます。ラジオが無くて、市外の人でも、気軽にエフエムワンを聴くことができるので、ぜひご利用ください。

※リアルタイム配信のため、過去の番組を聴くことはできません。また、国外からは利用できません

インターネットでも放送が聴けます！



地域に根差した情報を声でお届け

開局15周年！
えふえむ花巻

FM One
78.7MHz

【問い合わせ】本館広報情報課(☎41-3504)



えふえむ花巻株式会社
放送局長 落合 昭彦 さん

かつてアナウンサーとしてテレビ局に勤めていた落合さん。「テレビと違ってカメラが無いから、自然体で素直な気持ちを話すことができる」とラジオの魅力語り。その魅力を發揮しているのが、開

声だけだからできる自然体での情報発信

地域密着型のFM放送(愛称「エフエムワン」)を放送しているコミュニティ放送局「えふえむ花巻」は、9月1日に開局15周年を迎えました。エフエムワンでは、パーソナリティによるトーク番組をはじめ、市内の出来事や行政情報、災害・避難情報の発信など、地域に根差した放送を続けています。

えふえむ花巻開局の準備段階から携わっている、放送局長の落合昭彦さんに、コミュニティ放送の魅力をお話しました。

えふえむ花巻開局の半年後に起きた東日本大震災。本市と防災協定を結んでいたえふえむ花巻は、その日のうちに臨時災害放送局を立ち上げ、市内の災害情報をいち早く放送しました。当時、「何でもいから声を聞かせてほしい」と地域の人から多くの手紙などが届き、落合さんは災害時のラジオの重要性を感じたそう。

「人の声を聞くと気持ちが落ち着くんですよ。それに、地域の情報が

人の声で安心と安全を届ける

局時から力を入れている生放送番組。曜日ごと変わるパーソナリティによる軽快なトークが売りです。

コミュニティ放送局の生放送では、パーソナリティ1人で放送を行うことが多いのですが、エフエムワンではパーソナリティ2人で放送を行うことがよくあります。「1人の話も良いが、2人が自然体で話す会話の掛け合いを楽しんでほしいから」とこだわりを見せる落合さん。リスナーから送られるメッセージも加わり、生き生きとした放送が届けられています。



えふえむ花巻のパーソナリティの皆さん

普段はホッと一息つけるような放送を、災害時にはホッと安心できるような放送を、えふえむ花巻はこれからも、地域の情報を届け続けます。

得られて安心もできる。これがコミュニティ放送の重要な役割だと思っています。スマートフォンが普及した現代でも、災害時にはインターネットがつかないこともある。そんな時に人の声で地域情報を届けられるラジオの存在価値は、これから先も十分にある」とコミュニティ放送の力を強く信じていました。